



国際会長 (IP) Moon Sang Bong (韓国)

“Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

“Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

会長 古田 和彦  
副会長 古賀 健一郎  
書記 金子 功  
会計 伊藤 誠彦  
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) 田中 博之 (東日本区)

“Action” 「アクション」

“With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

「為せば、成る」

“No challenge, No fruit”

湘南・沖縄部部長 (DG) 佐藤 節子 (厚木)

「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「YMCA、ワイズメンと共に！」

“With YMCA, With Y's Men”

監事 松島 美一  
ブリテン 古賀 健一郎  
担当主事 青木 一弘

### <今月の聖句>

今村 讚

友のために自分の命をすてること、これ以上に大きな愛はない。

(ヨハネによる福音書 15 章 13 節)

### 今月のひとこと

#### 「祖先を敬う」

金子 功



我が家の菩提寺は、国道1号線、原宿の交差点から大船に抜ける途中の小雀町に位置する臨済宗円覚寺派の燈明寺と言うお寺である。そのお寺の墓地が国土交通省の道路建設計画の路線に在ると言う事で、墓地全体が移転することになった。

当然我が祖先のお墓も移転することになった。300近い檀家を抱えるお寺としては、新しい墓地の確保から、閉眼供養をして墓石を移転する大事業を余儀なくされた。

今夏、5年以上の歳月を費やして、何とか新しい墓地が完成した。新しい墓地は墓地建設の規則に従って通路の幅、水はけ、グリーンベルトの確保等見事に整備されたものになった。但し、墓石によっては、角が崩れかけたような古いものから黒光りのする新しいものまで、又、形も公園墓地で見るとようなモダンなものも散見できた。

今夏7月末のことである。移転工事の間お寺の納骨堂に収

めていた我が家のご先祖様のお骨を開眼供養と称して、移転したお墓に戻す儀式をすることになった。長兄初め直系の親族が集まり開眼供養に臨んだ時のことであった。石屋さんが「金子家の墓石は見事です。これは小松石と言って墓石としては最高級品ですよ。今、これほどの墓石を立てようとしたらこのくらいはかかりますよ。」と片手の5本指を示したのだ。500万円だということはすぐに理解した。

墓石の裏側に書かれた記録に依れば、建立は大正11年、明治24年生まれ父は32歳であった。長男であった父が32歳と言うことは後に続く6人の弟妹の中にはまだ学業に励むものもあり、経済的には可なり困窮を極めていた時期であったことが容易に想像できる。確かに、父からも親代わりになって弟妹達の面倒を見たという話は直接聞いたことがあった。

困窮を極めていたそんな機に、他界した父親のために最高の墓石を選んで墓を建立した父の先祖を敬う気持ちがジーンと私に伝わってきた。

私が幼少のころ、我が家の唯一のレクリエーションと言えはお墓参りであった。家族が揃って戸塚から大船に通じる柏尾川沿いの桜堤防を歩き田谷に抜けてお墓まいりしたことが懐かしく楽しい記憶として残っているが、父としては祖先を敬う気持ちを無言のうちに子ども達に教えていたのであろう。

### <2018年10月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
13名	メン 7名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 1名 合計 8名	69% (メーキャップ 2名含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 現金 年度累計 切手 現金	0g 0円 0円 0g 0円

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

## ＜11月の行事予定＞

### 強調月間「ワイズ理解、ファミリーファスト」

日	曜	時間	行事内容	場所
8	木	18:30	第一例会	中央YMCA
11	日	10:00	部主催フレッシュセミナー	中央YMCA
17	土	14:00	第2回部評議会	中央YMCA
22	木	13:00	ウエルカムフェスタ準備会	中央YMCA
22	木	17:00	第二例会	中央YMCA
23	金	10:00	ウエルカムフェスタ	中央YMCA

## 「10月第一例会報告」

古賀 健一郎

日時：10月11日（木）18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA501号室

出席者：青木、伊藤、今村、大高、金子、古賀、古田

ゲスト：鴨下純久氏(卓話者)

例会は、金子ワイズの司会により定刻に開始。古田会長の開会点鐘、挨拶に続いて、ワイズソング、ワイズ信条唱和した後、今月の聖句を金子ワイズが朗読し、その所感を述べた。1992年から横浜YMCA主催のマンマーでの医療活動などに大きく貢献された廣瀬 誠医師の話題に触れ、同氏は2004年に現地で過労で亡くなられたが、その交流と活動は多くの方々に引き継がれ、今では大きな実を結んでいると話された。古田会長によるゲストとして当日の卓話者の鴨下純久(よしひさ)さんの紹介。金子ワイズによる食前感謝と食事。

今例会の卓話は、横浜YMCA理解の第二弾、「BAPY基金について」と題して、三浦YMCAグローバル・エコ・ビレッジ所長であり、BAPY基金の担当もされている鴨下純久さんにお話をいただいた。①BAPYとは「Be A Partner of the Youth」の略称で、「子どもたちのパートナーになろう」との意味が込められている。横浜YMCAのスポーツやキャンプなどのさまざまな活動に、経済的な理由により参加したくても参加できない子どもたちに対して費用の一部または全額を基金より援助するプログラム。②利用対象者は、保護者の保護を受けられない者、公的援助(扶助)を受けている者、経済的な事由によって諸プログラム参加費用の支払いが困難な者に限られる。③基金設立までの経緯として、1989年、山根誠之前総主事(当時熊本YMCA総主事)がサンアントニオYMCAへ訪問し、貧しい家庭の子どもたちがYMCAでのびのびと楽しんでいる姿を見て、それが多くの人たちの募金で実現できていたことを知った。その後1990年に熊本YMCAにおいて、日本の都市YMCAにおける初めての子ども支援基金を設立した。横浜YMCAは2004年に子ども支援(BAPY)基金を設立した。④BAPY基金は、横浜YMCAで毎年行われている「国際・地域協力募



卓話者の鴨下氏

金]をはじめ、会員、市民有志、後援・賛助会などからの寄付によって支えられている。⑤ここ数年は、BAPY基金適用者は年間65～70名程度であり、金額にして350～420万円程度。⑥年々、基金原資が減少してきたため、2015年より「子ども支援(BAPY)基金拡充キャンペーン」を実施するとともに、「子ども支援(BAPY)基金のためのチャリティーゴルフ」を開催している。(来年は2019年3月8日(金)会場一戸塚カントリー倶楽部にて)。また、自動販売機の売上げの一部が基金となる取り組みも始動した。⑦今まで基金を利用された方の世帯は、児童養護施設・生活養護施設・生活保護世帯・市県民税非課税世帯・所得税非課税世帯・里親養育世帯である。⑧最近、少額の納税をされている方々の生活の困窮度は大変厳しいとの認識に至り、制度変更の議論を重ねて、2018年度より少額納税世帯の基金受け入れを可能とした。⑨3年前から、生活保護世帯の方々の学習支援の授業を横浜YMCAが受託した。約百人集っている中高生にこの基金は適用される。今後はこうした中高生の為のキャンプや活動を計画したい。⑩多くの申請者から感動的なレポートが届いている。あるひとり親の世帯で「この子ども支援(BAPY)基金制度がなかったら、YMCAの活動には参加できなかった。もうすぐ高校を卒業するのでYMCAのキャンプは今年が最後です。(子どもはそう思うと)最後は涙が止まらなかったようです。この後は、もし活動ができるのであれば、YMCAのリーダーとして関わっていただければと思っています」……と。最後に、鴨下さんは「この制度を利用することで、YMCAのことを知って、その活動の中で、子どもたちが心も体も成長していると感じる場面に触れると本当にうれしい。これはYMCAがYMCAらしさを表現する大切な活動だと思っている。いろいろな機会でも、皆様へのご協力の呼びかけを今後も継続していきたい」と話され、卓話を締めくくった。

卓話の後にはビジネス。今後の予定等を確認して定刻に終了した。ロバ献金は7千円。

## 「熊本スピリット訪問報告」

齋藤 宙也

10月8日、熊本YMCA70周年記念式典に参列した(参加者：今村、齋藤、古田ワイズ。なお、田口総主事の名代として茂木雄さん)。2010年11月、熊本YMCAの存在すら認知せずに司法修習で熊本入り。すぐ始まった弁護士修習先で、同年末、いきなり熊本ワイズメンズクラブの忘年会へ。熊本Yとの実質的な関わりは1年だけであったが、それでもある程度のメンバーの知己を得ていた。今回は、その多くのメンバーとの再会となった。

式典は、まず礼拝。続いて、関係者挨拶。熊本Yの福島会長の簡潔明瞭な挨拶の後、熊本県内各自治体の首長が、それぞれのウィットを利かせて挨拶。



関田寛雄氏の講演



その後、目玉となる講演会。日本基督教団神奈川教区巡回牧師でもある関田寛雄氏の講演で、寅さんとキリスト教の意外な共通性を説く。私の年齢だと、「男はつらいよ」の各作品が分からない上、聖書を勉強しているわけでもないため元ネタがいずれも分からなかった。それでも理解した範囲では、寅さんの生い立ちとイエスキリストの生い立ちには、望まれずに生まれたという共通性があり、それゆえに人を生かす言葉を持つことができる、和解というものを強く意識している、「風の吹くまま気の向くまま」というスタンスが人間の自由につながるなど、寅さんのスタンスがイエスキリストないし聖書の教えと（期せずして？）重なるということであった。

続いては、場所を移して懇親会。かなり大きな会場で数百人が参列し（ワイズメン以外も多数）、熊本Yの地域との関わりや深さがうかがえた。熊本の、スピリット以外のクラブのワイズメンも含めて交流した後、2次会へ。もともとスピリットのメンバーのみというはずが、同クラブの参加者が少なかつたため、県内他クラブからも集まってもらった。熊本にいたときから感じていたが、熊本は、クラブ間の垣根が非常に低い。熊本のワイズの熱さを再確認して解散した。

翌日は、せっかくスピリット側が熊本観光を考えてくれていたが、古田会長のみの参加となった。当クラブの90周年が2020年であり、そのいろいろ記念すべき年のDBC締結を目指して、また一里塚を設置することができたと思う。

## 「ワイズカップチャリティーサッカー大会報告」

古田 和彦

第3回目となるワイズカップチャリティーサッカー大会が10月13日（土）、中央YMCA体育館で行われました。大会に参加する子供は中央YMCA、北YMCAのサッカー



開会式の様子

クラブに所属している、まだ小学生になる前のちびっ子たち。今回は16名でした。9時半、開会式。横浜クラブ古田会長が元気で怪我なく楽しくプレーをしてくださいと、また、ワイズメンズクラブがYMCAを応援

する団体である旨の挨拶をしました。その後、運営リーダーからルールの説明、サッカーボールを使った準備運動が行われ、いよいよ4チームに分かれて試合が行われました。保護者の熱烈的な応援を受けて、元気に走り回り、はつらつとプレーしているちびっ子たちを見て、シニアの私たちも元気ももらいました。中には、ゴールを決められるたびに大泣きする子がいたり、まだ小さくてどちらに向かうかよくわからない子がいるなか、リーダーたちが粘り強くケアをする様子も見え、素直で無邪気な子供たち、リーダーたちの献身的働きも目の当たりにすることができました。

試合ののち、表彰式では、YMCAが大切にしている4つの価値から賞を決めて、ケアリング（思いやり）賞、オネスティ（誠実さ）賞、リスペクト（尊敬心）賞、リスポンシビリティ（責任感）賞がそれぞれのチームに、また、全員にメダルが授与されました。プレゼンターは当クラブ大高ワイズ、つづきクラブの岡田ワイズでした。閉会挨拶はつづきクラブ

岡田会長が行い、12時15分無事怪我無く終了しました。

横浜クラブ参加者：伊藤、大高、金子、古田。

## 「第21回 横浜YMCAチャリティーラン報告」

金子 功

快晴に恵まれた10月20日（土）第21回横浜YMCAチャリティーランが横浜みなとみらい臨港パーク内特設コースで開催された。参加チームはA、B、Cコース合わせて109チーム。幼児から高齢者、障がい者、車椅子利用の参加者に、当日の運営スタッフ、ボランティア、付添応援者を加えると参加関係者は1,200人以上に上った。

オープニング・セレモニーはYMCAチアダンスクラスの他、今年は横浜市立大学応援団チアリーダー部SEAGULLS（シーガルズ）の演技で始められ、大会実行委員長佐藤節子（湘南・沖縄部部長）の開会宣言に引き続き、二人の藤沢YMCAトライアングルクラスの代表が選手宣誓を行った。

本年の特記すべきは、A、B、Cコースを走るグループの他に3チームのみであったが目を引くコスチューム姿で走るパフォーマンスラン・グループの出現であった。可愛いドレスや奇抜なコスチューム姿に大会は大いに盛り上がりを見せた。



横浜クラブ参加者

た。横浜クラブは恒例により、つづきクラブと一緒に受付担当。受付テントの設

営の後、9時からはA、B、Cコース参加チーム別に登録を受け付けた。崎陽軒の弁当が届いてからはチーム分毎にシュウマイ弁当と飲み物の袋詰め。例年のことなので流れ作業よろしく要領よくことは運んだ。11時からは弁当・飲み物の配布が始まる。最後の仕事は弁当の空き箱の回収と整理。崎陽軒から届けられた段ボール箱に弁当の空き箱を詰め戻して我々の仕事は終了した。

このチャリティーランの運営に当たってはワイズメンズクラブは全面的に協力しているが、今年もとつかクラブと金沢八景クラブはコースガードを、鎌倉クラブと厚木クラブは抽選会を担当した。

閉会式では今回の募金総額545万円の目録が田口総主事に手渡された。

横浜クラブからの参加者は伊藤・大、金子・大、古賀、田口、古田の7名。

## 「近況報告」

松島 美一



近況報告は「妻が身体不自由になり、健康寿命の大切さを身にしみています。私自身は健康ですが、妻の病状により行動が大分制約されています。ワイズの例会やYMCA関連の集会への出席もまま

ならず、フラストレーションが溜まります。」と言うような愚痴になりがちです。嘆き節をまき散らすのを止め、前向きに自分自身の健康寿命を伸ばそうと近所のジムに行くことにしました。(ジムと言っても横浜YMCAのそのように立派なものではなく、川崎市の施設が運営委託されており、一回の料金300円です) 夕方、Lineで娘から早めに帰宅すると連絡あった日には、妻がベッドに横になっている間に抜け出し、30分ウォーキングマシンで速歩します。運動音痴の84歳、つかの間心身が解放された気分になります。有酸素運動は精神状態もリフレッシュします。

日本は世界有数の長寿国の一方、健康寿命はそれほど長くないと言う話も聞きます。ワイズに皆さんご自分とご家族の健康寿命に御留意ください。

## 第二例会報告

伊藤 誠彦

日時 : 10月25日 17:00~18:30

場所 : 横浜中央YMCA501号室

出席者 : 青木、伊藤、大高、金子、古賀、古田

協議・確認・報告・検討事項は次の通り。

- 1) 行事予定確認 (～1月末)
- 2) 幼児サッカー大会、チャリティーランの結果報告
- 3) 部フレッシュセミナー (11/11 10:00～)、第二回部評議会 (11/17 14:00～) 開催予告
- 3) 十勝ポテト、(福) 水上学園、(福) 訓盲院への配達、今村、古田、青木ワイズ、同行者歓迎  
ウエルカムフェスタ用はロビーにて適宜販売開始
- 4) ウエルカムフェスタ(11月23日)、事前準備は22日13:00より、その後第二例会、フェスタ当日は9時集合
- 5) 12月例会は忘年会を兼ねる  
会場は中華街の廣東飯店、YMCA関係者との交流を図るため、職員、運営委員等に古田会長より案内する
- 6) 11月卓話は、YMCA理解の一環で、青木担当主事に専門学校事業の話をお願いする
- 7) 西日本豪雨災害募金として横浜YMCA経由で13,500円寄附を実施した旨の報告
- 8) その他、前回第二例会で、10月第二例会でロースターに関する意見集約を図ることにしていたが、話し合いの結果、クラブとしての意見集約は見送ることとした



担当主事 青木 一弘

■ 「つながる café-Y」が9月22日にオープンしました。知りたい情報が「みつかる」場所、新しい仲間と「つながる」場所、地域の未来が「よくなっていく」場所。「つながる café-Y」は、認知症の方とご家族が一緒につろげる場所です。おいしいコーヒーやお菓子を召し上がりながら、ミニ講話や作業療法士による手先を使った活動をお楽しみいただけます。知りたい情報、新たな仲間と「つながる」カフェです。参加申し込みは不要です。気軽に参加でき、当事者や家族が楽し

めるとともに、気軽に情報交換ができる「認知症カフェ」です。是非、一度お越しください。

日時 毎月第3土曜 14時～16時  
場所 中央YMCA 8階ラウンジ  
費用 飲み物・菓子代各100円

初回は、ジャズコンサートを開催しました。

なお、カフェをお手伝いして下さるボランティアも同時に募集しております。

内容 認知症カフ

ェでの飲み物等提供、ミニ講話やプログラムの補助、高齢者の方のお話相手等

その他 交通費支給・ボランティア保険加入

問い合わせ 横浜YMCA学院専門学校 作業療法科

TEL : 045-641-5785 教務/加藤・青木



第一回認知症カフェ

## 11月例会プログラム

日時 : 11月8日(木) 18:30~20:30

場所 : 横浜中央YMCA 501号室

司会 : 伊藤ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 . . . . . 古田会長
  2. ワイズソング・ワイズの信条 . . . . . 全員
  3. 今月の聖句 . . . . . 今村ワイズ
  4. ゲスト・ビジター紹介 . . . . . 古田会長
  5. 食前感謝 . . . . . 今村ワイズ
  6. 食事
  7. 卓話 「YMCA専門学校事業」 青木一弘ワイズ
  8. ビジネス・報告 . . . . . 古田会長
  9. Happy Birthday 大高幾子(6) 伊藤比朗美(7)  
伊藤誠彦(16) 押川幸男(16)
  10. 閉会点鐘 . . . . . 古田会長
- 例会報告 : 伊藤ワイズ

## 12月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
4	火	19:00	Y-Y's 協議会	中央YMCA
13	木	18:00	第一例会兼クリスマス忘年会	広東飯店
20	木	18:00	横浜YMCAクリスマス	とつかYMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。  
メール aoki\_kazuhiro@yokohamaymca.org  
電話 045-641-5785

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★